平成26年度補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	配合飼料価格安定基金運営円滑化等事業 (配合飼料価格安定基金運営円滑化事業) 補助金		
2. 事業の目的及び内容			
(1) 目的	平成18年度から20年度に亘ってのシカゴ相場の高騰等に起因する配合飼料価格の上昇によって、通常補填財源貸付事業による900億円の貸付にもかかわらず、平成20年度第2四半期には通常補填を行う財源が更なる不足が生じることとなったことを受け、畜産農家の経営の安定、畜産物の安定供給を図るため、(独)農畜産業振興機構から補助金を受け入れ契約基金に貸付を実施した。		
(2) 具体的な内容	(独)農畜産業振興機構から、通常財源の不足分として、補助金292億円を受け入れ契約基金に対し無利子貸付を実施。当該貸付金の償還については、異常補填財源からの333億円の貸付金の償還終了後、平成32年度から平成35年度の4年で償還させることとしている。 償還額は、原則として、当該年度の通常補填積立金の2割とし、通常補填準備財産の当該年度の1月末残高等を踏まえて、当機構理事長が農畜産業振興機構理事長に償還額を協議するものとする。		
3. 交付先の法人の名称	公益社団法人 配合飼料供給安定機構		
4. 交付実績額	- (A)		
5. 補助金等における管理費			
(1) 人件費			
(2) 一般管理費			
(3) その他の管理費			
	内 容	金 額	
	合 計		
	合 計		
6. 外部への支出			
(1) 外部に再補助等されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金 額
	-----		-----
	-----		-----
	合 計		- (B)
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金 額
	-----		-----
	合 計		
7. その他			
	内 容	金 額	
	-----	-----	
	合 計		
8. 再補助等の割合	- (B/A)		

平成26年度補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	配合飼料価格安定基金運営円滑化等事業 (配合飼料価格安定基金運営基盤強化事業) 補助金		
2. 事業の目的及び内容			
(1) 目的	最近の配合飼料価格の動向は、平成24年秋以降の飼料穀物価格の高騰・高止まりから落ち着きを取り戻しつつあるが、今後、米国等の飼料穀物産地における不作等により再び高騰した場合、配合飼料価格安定制度の通常補填交付金の補填財源を確保できなくなることに備え、制度の基本的な機能を維持し運営基盤の強化を図るため、(独)農畜産業振興機構から補助金を受け入れ契約基金に貸付を実施した。		
(2) 具体的な内容	(独)農畜産産業振興機構から、通常補填財源強化を図るため、平成25年度に補助金90億円及び平成26年度に補助金134億円を受け入れ契約基金に対し無利子貸付を実施。当該貸付金の償還については、異常補填財源からの333億円の貸付金、配合飼料価格安定基金運営円滑化事業による292億円の貸付金の償還終了後、平成25年度の貸付金については、平成35年度から平成36年度、平成26年度の貸付金については、平成37年度から平成38年度に償還させることとしている。償還額は、原則として、当該年度の通常補填積立金の2割とし、通常補填準備財産の当該年度の1月末残高等を踏まえて、当機構理事長が農畜産業振興機構理事長に償還額を協議するものとする。		
3. 交付先の法人の名称	公益社団法人 配合飼料供給安定機構		
4. 交付実績額	13,460,010千円 (A)		
5. 補助金等における管理費			
(1) 人件費			
(2) 一般管理費			
(3) その他の管理費			
	内 容	金 額	
	合 計		
	合 計		
6. 外部への支出			
(1) 外部に再補助等されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金 額
	通常補填財源強化事業貸付金	一般社団法人	13,460,010千円
	-----	-----	-----
	-----	-----	-----
	合 計		13,460,010千円 (B)
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金 額
	-----	-----	-----
	-----	-----	-----
	合 計		
7. その他			
	内 容	金 額	
	-----	-----	
	合 計		
8. 再補助等の割合	100% (B/A)		